

国際標準化 課題に対するコメント

法政大学 糸久正人

Q1:企業にとって、集合行為の問題があるにもかかわらず、コンソーシアムベースの標準化をリードすることにはどのようなメリットがありそうですか？それはなぜですか？

- **自社に有利な標準を形成できる可能性がある**
- **先行者優位→標準が複雑な場合に有効**
- **業界内でのプレゼンス向上（リーダー的役割）**
- **コンソーシアムの運営ルールを決めることができる**
- **オープン&クローズ戦略**
 - **補完財**
 - **実装ツール**
- **NG**
 - **標準の基本的な意義を記載しているもの（コスト削減、市場拡大等）**

Q2:あなたが標準化コンソーシアムのリードする立場にあった場合、どのようにすれば多くの仲間づくりができそうですか？それはなぜですか？

- ・明確なビジョン、社会的大義を示す**
- ・サポートを充実させる**
- ・根回しを行う、個別に丁寧なコミュニケーションをとる**
- ・Win-Winの関係を築く**
- ・関連する特許を無償公開する**
- ・政府や公式な委員会との関係を強化する（お墨付き）**
- ・インセンティブを与える**

Q3:欧州に有利なコンソーシアムベースの標準化ですが、日本の自動車産業はどのように対処すればよいでしょうか？あなたの考えを自由に記述してください。

- **短期的には欧州との協力関係を築く**
 - コアメンバーにしてもらう
 - ドイツとの関係を重視する
- **中長期的にはアジア圏を仲間に入れて欧州勢に対抗する**
 - 中国および韓国完成車メーカーとの合従連合
- **米国との関係を強化する**
- **更に技術を磨き、オープン化でリードする**
- **サプライヤーも巻き込んで日本勢のプレゼンスを高める**